



2026年8月24日
西部ガステクノソリューション株式会社

国内初、「P P Aモデル」による
フィルム型ペロブスカイト太陽電池の社会実装に向けた事業開始
～次世代型太陽電池で地域の脱炭素化を加速～

西部ガステクノソリューション株式会社（本社：福岡市、代表取締役社長：新飼 秀利）は、北九州市（市長：武内 和久）及び株式会社北九州パワー（本社：北九州市、代表取締役社長：富高 紳夫）と共同で、環境省の令和8年度「ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業※」に、8月17日付で採択されましたので、お知らせします。

本事業は、次世代型太陽電池である「フィルム型ペロブスカイト太陽電池」を、国内初となる第三者所有方式（以下、「P P A」）の仕組みを用いて、公共施設である北九州市立横代中学校の体育館へ導入するものです。フィルム型ペロブスカイト太陽電池は、薄型・軽量であることから、従来のシリコン型太陽電池パネルでは設置が困難であった耐荷重が限られる屋根や建物の壁面など、多様な場所への設置が期待されています。

本事業では、西部ガステクノソリューション株式会社が設備の所有者となり、保守・メンテナンスを担います。これにより、自治体や事業者にとって課題となる初期投資を抑えながら、次世代型太陽電池の導入を進めることが可能となります。西部ガスグループは、これまで培ってきたエネルギー事業の知見を活かし、地域の皆さまや自治体、事業者との連携を通じて、再生可能エネルギーの導入拡大と地域の脱炭素化に貢献してまいります。

※詳細については、以下ご参照ください。
https://www.env.go.jp/press/press_05166.html

1. 事業概要

導 入 施 設	北九州市立横代中学校（北九州市小倉南区横代北町3丁目5番1号）
導 入 予 定 規 模	10.56kW（太陽光モジュール容量）
補 助 事 業 期 間	2026年8月～2027年1月（予定）
代 表 事 業 者	西部ガステクノソリューション株式会社 ※P P Aを活用した補助事業は、所有者である企業が代表事業者
共 同 事 業 者	北九州市、株式会社北九州パワー



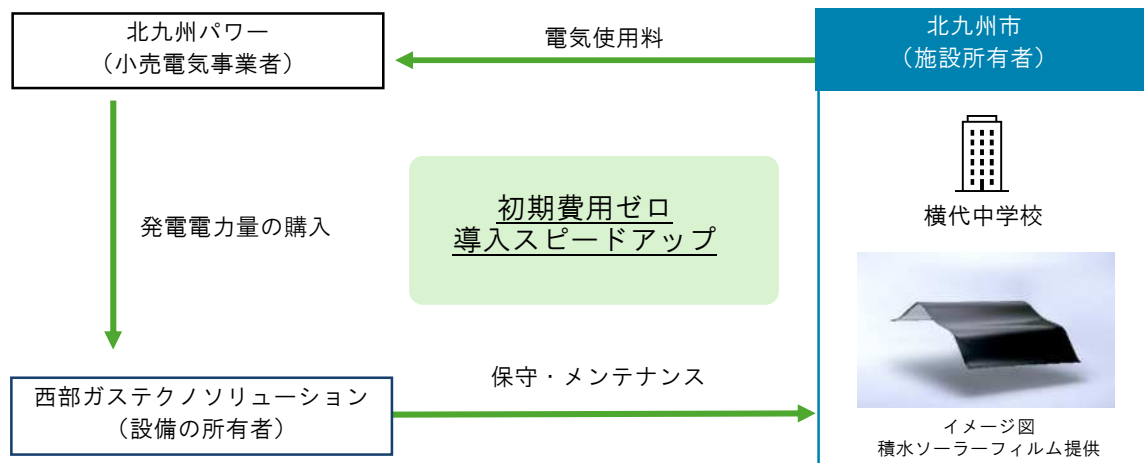
北九州市立横代中学校



体育館屋根設置イメージ図

2. 本事業のスキーム

本事業では、西部ガステクノソリューション株式会社、北九州市、株式会社北九州パワーが連携し、P P Aによるフィルム型ペロブスカイト太陽電池を活用した再生可能エネルギー供給体制を構築します。



■西部ガステクノソリューション株式会社の概要

会 社 名	西部ガステクノソリューション株式会社 (西部ガスホールディングス株式会社 100%出資子会社)
所 在 地	福岡市東区東浜2丁目9-118
設 立 年 月	1979年8月24日
代 表 者	代表取締役社長 新飼 秀利
事 業 内 容	熱供給事業 エンジニアリング事業 エネルギーサービス事業 P P A事業、電力小売り事業、ドローン事業他

参考：北九州市環境局 プレスリリース

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/290_00017.html